

長崎県教育委員会指定管理者選定委員会 議事要旨

1 委員会の開催状況

第1回 平成27年 7月14日(火) 10:00~11:40

第2回 平成27年10月 1日(木) 9:30~16:00

2 審議内容

【第1回指定管理者選定委員会】

(1) 委員長の選任

- ・委員の互選により、江頭委員が委員長に選任された。

(2) 審査対象施設について

- ・事務局より、審査対象施設は青少年教育施設と体育施設であること、及びその概要等について説明を行なった。

(3) 審査方法の審議

- ・次回以降の選定委員会で、応募者からのプレゼンテーションを実施し、委員による採点、審議のうえ、候補者を選定することが決定された。
- ・非公募施設についてもプレゼンテーションを実施し、公募施設と同様の方法により、審査することが決定された。

(4) 審査基準の審議

- ・審査基準及び配点などについて審議が行われた。

(5) 今後のスケジュールについて

- ・第2回選定委員会は、平成27年10月1日で調整し、青少年教育施設及び体育施設の審査を終日で実施することが決定された。

【第2回指定管理者選定委員会】

< 青少年教育施設の審査 >

(1) 応募状況の説明

- ・事務局(生涯学習課)から、公募施設については1団体から応募があったこと、非公募施設も公募施設と同様の審査をし、その結果を公表することなどの説明を行なった。

(2) 一括公募施設応募者のプレゼンテーション

応募者からの事業計画説明

質疑応答(主な質問は以下のとおり)

- ・長崎県青少年体験活動推進協会

施設における危機管理や人員配置などの管理体制、社会的な課題に対応したプログラムの開発や新たな事業展開、教育サービスの安定化を図るための職員の研修 などについて

(3) 一括公募施設応募者の採点、審議

採点結果

審査基準及び採点結果は別紙「審査基準及び採点結果」のとおり

- ・特定非営利活動法人 長崎県青少年体験活動推進協会 760点
- 指定管理者候補者の選定と選定理由

【候補者】

佐世保青少年の天地、千々石少年自然の家、世知原少年自然の家
特定非営利活動法人 長崎県青少年体験活動推進協会

【選定理由】

- ・人員配置や緊急時の危機管理対応など適正な管理運営体制となっており、安全・安心な利用が確保されている。
- ・青少年教育施設として、従来の事業に加え、いじめや防災支援など社会的課題に対応したプログラム開発などの提案もなされ、内容の充実が図られている。
- ・企業やPTAに働きかけるなど利用者層の拡大に向けた取組みを行うことにより、施設の利用促進が期待できる。
- ・十分な青少年教育施設の管理運営実績とノウハウを有し、また、候補者自体の財務状況も良好であり、安定した管理運営が期待できる。
- ・一括発注の活用や主催事業における施設間の連携など、効率的な施設運営を行うことで県負担金の縮減が図られている。

【その他の意見】

- ・教育サービスの向上のためには、職員のスキルアップが重要であるので、職員研修の充実を図る必要がある。
- ・一部施設の利用しづらいホームページについては、改善をしていくべき。
- ・施設が三位一体となった運営をより推進していくため、一定期間の研修を含めた職員の交流などを検討できないか。
- ・子どもが減少し、高齢者が増加していく中、施設の経営にあたり高齢化に対応した戦略が必要。

(4) 非公募施設指定管理者のプレゼンテーション

各施設の事業計画説明

質疑応答(主な質問は以下のとおり)

施設における危機管理や人員配置などの管理体制、社会的な課題に対応したプログラムの開発や新たな事業展開、地元自治体の施策における施設の位置付けや支援 などについて

(5) 非公募施設指定管理者の採点、審議

採点結果

審査基準及び採点結果は、別紙「審査基準及び採点結果」のとおり

- ・西彼青年の家施設運営協会 653点
- ・対馬青年の家施設運営協会 680点
- ・新上五島町 645点

指定管理者候補者の選定と選定理由

【候補者】

西彼青年の家

西彼青年の家施設運営協会

対馬青年の家

対馬青年の家施設運営協会

上五島海洋青少年の家

新上五島町

【選定理由】

- ・当該施設は、地域の青少年教育の核として、市町の事業を実施するなど地元市町と密接に関係し、施設の管理団体の長を市町長または市教育長が兼務するなど、地元自治体の関係部局と連携が取りやすい体制となっている。
- ・これまでの事業ノウハウの蓄積や管理運営実績を踏襲しつつ、また新たにいじめや防災支援など社会的課題に対応したプログラム開発などの提案もあり、各施設とも適切な計画となっている。

【その他の意見】

（西彼青年の家）

- ・子どもが減少していく中、「青年の家」であり、また西海市の実情を考えると、社会教育関係団体など大人をターゲットにシフトしていくことも大事な視点である。

（対馬青年の家）

- ・離島地域の実情から、青年の家としての機能を発揮し、PRするため積極的な出前講座の実施については評価できる。

（上五島海洋青少年の家）

- ・海洋体験施設であり、海洋事故の未然防止のため、安全管理体制を十分整える必要がある。

（共通）

- ・人員体制については、今後も検討していく必要がある。
- ・子どもが減少し、高齢者が増加していく中、施設の経営にあたり今後高齢化に対応した戦略が必要。

< 体育施設の審査 >

（１）長崎地区一括公募施設応募者のプレゼンテーション

応募者からの事業計画説明

質疑応答（主な質問は以下のとおり）

- ・不特定多数の観客が訪れる大規模施設として、事故・災害時の対応
- ・介護予防事業に取り組むにあたっての体制や現時点の進捗状況
- ・職場体験学習受入れの可否
- ・スポーツツーリズムで想定している競技

- ・トレーニング室スタッフの資格取得状況 などについて

(2) 長崎地区一括公募施設応募者の採点、審議

採点結果

評価表は、別紙「指定管理者候補者及び選定結果」のとおり

- ・長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社 835点

指定管理者候補者の選定と選定理由

【候補者】

県立総合体育館、県営野球場、県小江原射撃場

長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社

【選定理由】

- ・危機管理体制など適正な管理運営体制となっている。
- ・新たな取り組みである介護予防トレーニングのプログラムづくりや、スポーツツーリズムによる施設の利用促進が期待できる。
- ・収支計画については、利用料や自主事業の増と県負担金の縮減が図られている。

【その他の意見】

- ・スポーツ医科学部門に蓄積された貴重なデータについて、学校部活動や競技団体と連携して活用を進めてもらいたい。
- ・指導者研修を行う際は、勝利至上主義ではなく、子どもたちを育てるという観点を含めて進めてもらいたい。
- ・長崎市に主な体育施設が集中しており、成果をしま地区や遠方の市町へ還元できる方法を検討してもらいたい。
- ・資格を持つトレーニング室スタッフが利用者にアドバイスをするなどして、受付に座るだけにならないよう望みたい。

(3) 佐世保地区一括公募施設応募者のプレゼンテーション

応募者からの事業計画説明

質疑応答（主な質問は以下のとおり）

- ・佐世保市の避難施設として、事故・災害時の対応や市との連携体制
- ・スポーツ関連における職員の資格取得や研修の状況
- ・自主事業を企画する組織体制
- ・公募施設以外に佐世保地区で体育館や総合グラウンド、温水プールなど複数の体育施設の指定管理を行っていることの好影響 などについて

(4) 佐世保地区一括公募施設応募者の採点、審議

採点結果

評価表は、別紙「長指定管理者候補者及び選定結果」のとおり

- ・公益財団法人 佐世保市体育協会 690点

指定管理者候補者の選定と選定理由

【候補者】

県立総合体育館県北トレーニング室、県立武道館
公益財団法人 佐世保市体育協会

【選定理由】

- ・避難訓練、不審者対応、AED 研修の実施など適切な危機管理体制となっている。
- ・公募施設以外に佐世保地区で複数の体育施設の指定管理を行っており、相互の連携による利用促進が期待できる。

【その他の意見】

- ・施設管理面だけでなく、トレーニング指導などスポーツに精通した資格を持つ職員の配置をさらに進めてもらいたい。
- ・指導者研修を行う際は、勝利至上主義ではなく、子どもたちを育てるという観点を含めて進めてもらいたい。